

30.11.23 (金・祝ひだまり学習会) 事業報告書

学 習 記 録

| | | | |
|--|--|------|---------|
| 講座名 | ひだまりの会 学習会 | | |
| 学習テーマ | 行きたい学校どんな学校 | | |
| 講師の職業 | 「オヤモコモ」代表 | 講師名 | 山下千春 |
| 実施日 | 平成 30年 11月 23日 (金曜日) | 出席者数 | 大人 10 人 |
| 実施時間 | 13時00分～15時30分 | | 学生 3 人 |
| | | | 合計 13 人 |
| 会場 | 内浜公民館 | 記録者 | 杉原 雅子 |
| 学 習 内 容 | 講師紹介：3番目のお子さんが「学校をやめると宣言」し、今は保育園が運営するフリースクールや子どもの居場所に通っている。我が子を受け入れるために、2020年4月開校に向けて「理想の学校」を作る準備中。熊本のwingスクールの田上善治先生の支援の下に活動中。 | | |
| | 最初に山下さんがどのようにして学校を作ろうと思ったのか話をされ、簡単な自己紹介をされながら参加者とフリートーク。座談会形式で進みました。最後に子どもたちも加わり、学校についてのフリートーク。どんな授業が嫌い？どんな学校だったらいい？など。参加人数は少なかったが、こじんまりとしてみんなが発言できるなど和やかな学習会となりました。 | | |
| | 廃校をフリースクールにできないか。 | | |
| | wingschoolの目的 不登校の受け皿としてだけでなく教育に賛同した保護者や一般の学校に行かせたくない親。受け身の子どもを作りたくない。 選択肢として。労働者タイプの子は公教育でも戸惑わないが 在籍している子どもは補助金が出ているが籍を抜けない子どもは…代わりに補償してほしい。 | | |
| | 別室なら登校できたのに加配の先生がいなくなったことで部屋がなくなった。学校の仕組みに課題。学校に依存しない別の教育。 | | |
| | 先生が成長するための教育がない。 | | |
| | 言っているだけだとクレーマーにしかならない。こんなことができると示す。子どもが苦しまないようにして挙げられるのは自分しかいない。外から言われることは母に向かって責められる言葉が多く実母ともぶつかり合った。 | | |
| 学校に行かせて安心な親心 → 安心安全な場所の確保 学校に行かせることが不安な親心 | | | |

学校を作るとしたら：勉強が楽しいと思ってもらえるようなところ。
 まだ学歴重視の世の中。最低高校まではどの思い。
 やりたいと思う時が学ぶとき→その時までの力をつけておく
 先生の一言が子どもに影響することをわかってほしい。（過度の偏差値重視）
 子どもたちの思い：言葉の暴力（先生・こども）/自分のスペースが欲しい/プ
 ライバシー/朝が早い
 宿題（押し付けられるのは嫌）
 友達関係（人間関係を学ぶ場なのに人の優劣を気にするようになる）
 違いを認める社会になればいい。目標が見つければ進む方向が見えてくる。

アンケートの一部

私の子はいち高校を卒業して今、小・中学校。
 現状の間の良さを。
 私達の住んでいる地域にも小学校が少なくなると子供達の
 居場所、心の安定場所になると思ってる。今の学校には行かせない。
 ありふれた子供達の興味を伸ばさないと。
 実際は、お金の面でも心配なところがある。
 本日は、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございます

今日は貴重なお話ありがとうございました
 私も今の義務教育は医療・福祉の現場と同じくらい
 過酷になっていると思います。けれど医療や福祉の
 現場で患者や利用者様を傷つけてはたり
 殺したりしてはいけないのと同様に、学校も頼った
 子供を傷つけたり、見て見ぬふりをして自殺させ
 たりするのは論外だと思っています。悪質なデイ
 サービスは変えていいのと同様に子供だって不登校は
 あたり前だし、よりよい環境で過ごせる場所を求める
 ことは、^{おがくはな} ~~当然~~ ~~前~~ ~~の~~ ~~こと~~ ~~だ~~ と思っています。
 オルタナティブスクール開校を応援します。

ご協力ありがとうございます

と参考には「おがくはな」
 親子の心と育ちを大切にしたい。
 親子の心と育ちを大切にしたい。
 親子の心と育ちを大切にしたい。

